

事務事業名	伊那谷文化史資料調査研究事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	H28担当課等名	美術博物館			
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
	施策	61	地域資源の発見・資産化					
目的	対象(誰・何を)	1 伊那谷を中心とした人文分野		対象指標	指標名及び単位			
	意図(どういう状態にするか)	1 収集した資料を、研究・整理して成果を公表する			飯田下伊那地域の面積(平方キロメートル)			
	向上させたい上位施策の成果指標	見いだされた地域資源の数(累計)			28年度数値			
					2262.6			
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	調査した資料の数(点)		50	50	50	62	
	成果指標	蓄積・登録した資料の総数(点)		14148	14148	14198	14280	
	定性目標							
事業概要	1 伊那谷の人文に関する資料及び情報を継続的に収集、整理、研究活動を行う。							
	2 調査活動は「飯田市地域史研究事業」の一環として位置づけ、その成果を特別展や特別陳列、図録や報告書、映像等で還元する。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 伊那谷の人文に関する調査研究の実施			1 調査研究箇所数		1 98カ所		
	2 資料の収集、整理及び登録			2 整理登録件数		2 10件		
	3 映像記録の整理			3 映像件数		3 3件		
	4 南信州阿南町新野雪祭等資産化事業への協力			4 成果物		4 5件		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		3,654	4,120	3,326	0	(そ) 諸収入		
国庫支出金			0					
県支出金			0					
起債			0					
その他		515	150	369				
一般財源		3,139	3,970	2,957				
人件費計(千円)②		0	0	0	0			
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		3,654	4,120	3,326	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	飯田大火で焼失をまぬがれた土蔵調査を開始した。飯田上飯田の民俗の第2次調査に向けて準備を進めている。新野の雪祭りと新野の年中行事の調査をまとめ、報告書(2件)と映像記録(3件)を発行、制作した。							
改革改善の考え方	①問題点	開館以来の調査研究の蓄積が十分に市民に還元されていない。						
	②改革提案	資料整理を着実に進めていく。常設展示の大規模更新でなく、まずは中規模の更新を平成30・31年度に実施することで、成果を常設展示化する。						